

近畿「ディスカバー農山漁村の宝」(第5回)選定地区及び選定者

団体部門			
No.	所在府県市町村	地区名	取組の概要
1	滋賀県大津市	仰木自然文化庭園構想 八王寺組	 <p>1200年続く田んぼでオーナーの田植え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しが棚田ネットワーク」と連携しボランティアの受入やオーナー制度を活用し、耕作放棄地の草刈りや復田など棚田の保全活動を実施。</li> <li>・棚田米100%の日本酒の販売、高校や大学の学習田の提供、また、地元住民と棚田オーナーやボランティア活動参加者との交流会で餅つきやしめ縄作りの披露などにより、交流人口の拡大、地元の若者世代へ昔からの技術の継承を通じて地域活性化に取り組む。</li> </ul>
2	京都府福知山市	毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト	 <p>女性が活躍する地域ブランド商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年以上前から棚田オーナー制度や民間企業と連携した地域活性化に取り組む毛原集落において、地域外メンバーを加えた「毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト」を設立。</li> <li>・千年つづく里づくりを目標に、地域特産品の復活、縁側喫茶の営業、地域通貨の導入などにより地域活性化を実践。</li> </ul>
3	大阪府泉大津市	学校法人村川学園大阪調理製菓専門学校	 <p>泉州の首長・大阪観光局理事長との共同宣言式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪万博を見据え、農林漁業者や食品事業者と連携し、泉州食材を活かしたレシピや商品開発により「美食」を創造。</li> <li>・学生が、規格外野菜を用いたスイーツやパンの開発・販売、学校給食の開発、食材研究、レストラン運営等を実施し、泉州地域の農林水産物を活かした「食」のPRを実施。</li> </ul>
4	兵庫県新温泉町	海上区（海上営農組合、海上元気村組合）	 <p>「集落営農プラン」に係るワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限界集落化が進む危機のなか、平成13年に「海上営農組合」を設立し、農業用機械・施設の共同利用や基幹作業の受託を進め、棚田米をブランド化。</li> <li>・高齢者の生きがいがづくりのため、平成23年に交流拠点施設「うみがみ元気村」を開設し、女性を中心に地域食材の加工、販売、食堂営業及び交流イベントを実施。</li> </ul>
5	奈良県下市町	NPO法人「どろんこ畑」	 <p>柿の収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どろんこになりながら・笑いながら作業しよう」との想いで名付けられた「どろんこ畑」が農地を借りて、畑のバリアフリー化や園内道のコンクリート化により、障害者が安心して、楽しめる農業を实践。</li> <li>・地域の特産品である柿や梅等の農作物や加工品の販売、カフェ経営により、利用者の工賃と農業者の所得向上に取り組んでいる。</li> </ul>
6	和歌山県有田川町	有田川町×龍谷大学	 <p>ぶどう山椒の収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有田川町と、ぶどう山椒の産地消滅の危機に立ち向かう町の姿勢に共感した龍谷大学が中心となり、生産者、地元住民、企業等を巻き込み、産地振興を実施。</li> <li>・商品開発、販売、イベント開催等により、若年層への山椒認知拡大、生産者のモチベーションと所得の向上が実現。</li> </ul>
個人部門			
7	滋賀県野洲市	堀 彰男	 <p>オンライン授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニゴロブナなどの湖魚が遡上し、産卵・繁殖して琵琶湖に帰る生命の循環を担う「ゆりかご」のような水田を復活させ、田んぼに生きものの賑わいを取り戻すための「魚のゆりかご水田」の取組を実施。</li> <li>・生きものの生育環境に配慮した琵琶湖と共生する米づくりを柱に、6次産業化や地元小学校での出前授業による環境教育などにより、次世代への継承・持続可能な地域活性化を实践。</li> </ul>